



校長通信

令和5年度32号 令和6年3月22日

和歌山市立河北中学校 校長 戸川定昭

本日、終業式を迎え、令和5年度の学習活動も無事終了することができました。保護者の皆様には、この1年間、河北中学校の様々な教育活動に、ご理解・ご協力を賜り、ありがとうございました。育友会役員の方々を中心に、校内整備作業や、毎月の校門でのあいさつ運動など、子供たちのためにご尽力いただいたことは、感謝の念に堪えません。来年度も、よろしく願いいたします。



今年度、最後の校長通信、終業式で私が話した（話す）内容を掲載します。

《終業式・校長式辞》

令和5年度をしめくくる、3学期終業式にあたって、この1年間を振り返りながら、お話しします。今年度、はじまりの1学期の始業式で、わたしがみなさんに話した内容を覚えていますか？目標をもってそれに向けてチャレンジすること、失敗を恐れずにチャレンジすることの大切さを話しました。そして、そのチャレンジが成功しても、失敗しても、その原因を振り返ること、残心の精神が大切であると話しました。

みなさんは、目標をもち、それに向けてチャレンジしましたか？去る3月13日、宇宙開発ベンチャー企業「スペースワン」の小型ロケット「カイロス」が、串本町の発射場「スペースポート紀伊」から打ち上げられました。しかし打ち上げ直後、ロケットは爆発し、残念ながら失敗に終わりました。和歌山県民の期待はとて大きかっただけに、たいへん残念な結果となってしまいました。

会見したスペースワンの社長さんは「衛星を託したお客様や皆様の期待に十分お応えできず、深くお詫び申し上げます。打ち上げまで到達したが、ミッション達成が困難と判断し中断した。結果を前向きに捉えて次の挑戦に臨みたい。一刻も早く原因を究明し、再発防止策を明らかにする。小型ロケットにより宇宙サービスの拡大に貢献したく、一層精進していく」と話しました。

たいていの場合、物事にチャレンジし、失敗したら意気消沈してしまうと思うのですが、この社長さんは、原因を究明し、次の挑戦に臨みたいと、たいへん前向きな姿勢を示しています。見習いたい姿勢ですね。

来年度、みなさんは、それぞれ1学年進級します。新たな学年で、新たな目標を設定し、チャレンジしてほしいと思います。この春休み、今年度学習したことを、復習し、来年度に備えてください。令和6年度の始業式で、元気に会えることを楽しみにしています。